

つみきのくらし

NO.10

短い

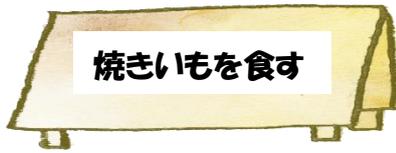
秋

を堪能する

焼きいもを食す

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもとおとなの素敵な姿をお伝えしていきます。

井鳥 佳織



11月の良き日に、ぱんだ組が育てた『さつまいも』を焼いておいしくいただきました！

レンガで簡易的な『かまど』をおとなが用意し、子どもは、湿らせたキッチンペーパーとアルミホイルでさつまいもを巻き、焼き芋の準備をしました。

子ども達が集めた落ち葉に火をつけると、モクモクと煙が立ち登り、「パチパチいってる」「くさいくさい！」「香ばしいにおいがする」「熱いね」などと自分自身が感じたことを口にしていました。

たき火と家庭でのバーベキュー(炭)との違いは感じられたかな？火は怖いとおとなは言うけれど、近づいたら本当に熱くて怖いかも？って感じたかな？こんな気付きが子ども達の経験・体験となって、これからの生活のどこかに生きるといいなと思います。焼き芋の味は「サイコー！」でした！



ちょうど良い炎との距離感を自分で保ちつつ、なぜか無言で「見てらさる〜」(北海道弁)人間の本能なのですね。



巻くのがとっても上手！たくさん巻いてくれた子がいました。

みんなで、焼きいもを堪能しました！

外はちょっぴり寒くて、お芋はアツアツ。甘くて美味しく、幸せがいっぱいでした。



あえて煙に近づき燻製になりたがる子が。匂いにやみつきになったのか？煙って幻想的だから楽しいのか？

ハロウィンを楽しむ



支援センターに遊びに来ていた子どもも、参加してくれました！

「ハロウィンしない？」「うちのクラスもしたい」とおとなが子ども達と楽しみたい！と計画。それぞれのクラスで仮装を楽しみ、園舎内をまわって「トリックアクト♪」

ストライダーコースを作ってみました！

最近の子ども達のストライダー遊びの様子を見ていると、スピードを出したり、あえてスピードが出るコンクリートの道で走る傾向があると保育者たちは感じていました。ということは、園庭内を走ることに魅力を感じなくなっていると考え、ワクワクするコースを設けることにしました。現在、南園庭のホットスペースとなっています。



終着地点の段差はあえて。ガタン！となることを意識して欲しいねと、危険察知能力に働きかけています。